

本事業計画は内閣府の「変更認定申請」の認定を受けた最新事業計画

2020 年度事業計画

(2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

1. 事業計画概要

2020 年度は基本財産 6.5 億円のうち 2.5 億円分が償還期を迎え、超低金利のため運用益の大幅減少が予想されるため、これまでのように助成事業と自主事業を継続して行う事は非常に難しく、事業目的の達成に真に必要な事業を選択し集中して行う事が求められる。

については、本理事会第 1 号議案のとおり、公益目的事業並びに公益目的事業関連業務(以下関連業務)の一部廃止や見直しにより、限られた事業予算を助成事業に集中することにより財団目標である自然環境の保全を達成していきたい。

2. 個別の事業計画

1) 助成事業

昨年度までの累計助成件数は 485 件、累計助成金額は約 2 億 6 千万円となった。

今年度は運用益が大幅に減少するものの、一方で不要不急の事業の廃止や見直しを行い助成事業への予算の振り分けを行う予定であり、その効果も踏まえ助成金総額は昨年と同様に 900 万円とする。

また、助成事業の公募期間は例年と同様に 5 月中旬から 7 月末とし助成事業の選考は選考委員会で行う。

- | | | |
|-----------|---|----------|
| ① 助成総額の目標 | : | 900 万円予定 |
| ② 助成件数の目標 | : | 20 件前後 |

以上

参考:

内閣府「変更認定申請」の認定を受ける前の2020年2月17日理事会で承認された事業計画

2020年度事業計画

(2020年4月1日～2021年3月31日)

3. 事業計画概要

2020年度は基本財産6.5億円のうち2.5億円分が償還期を迎え、超低金利のため運用益の大幅減少が予想されるため、これまでのように助成事業と自主事業を継続して行う事は非常に難しく、事業目的の達成に真に必要な事業を選択し集中して行う事が求められる。

については、本理事会第1号議案のとおり、公益目的事業並びに公益目的事業関連業務(以下関連業務)の一部廃止や見直しにより、限られた事業予算を助成事業に集中することにより財団目標である自然環境の保全を達成していきたい。

しかしながら、公益目的事業の一部廃止や見直しには、理事会決議を添付した変更認定申請と内閣府の事前承認が必要なため、当年度の事業計画は例年通り助成事業と自主事業を盛り込むこととする。

については、第3号議案である2020年度正味財産増減予算書については、経常収益は償還月までの運用益を基に作成し、経常費用は例年通り助成事業と自主事業を前提に作成している。

なお、内閣府の承認が得られた後に計画している事業については実施しない。

また、2020年4月1日までに内閣府の承認が得られた場合、廃止対象事業を除いた2020年度事業計画(変更後)を提出する可能性がある

4. 個別の事業計画

1) 助成事業

昨年度までの累計助成件数は485件、累計助成金額は約2億6千万円となった。

今年度は運用益が大幅に減少するものの、一方で不要不急の事業の廃止や見直しを行い助成事業への予算の振り分けを行う予定であり、その効果も踏まえ助成金総額は昨年と同様に900万円とする。

また、助成事業の公募期間は例年と同様に5月中旬から7月末とし助成事業の選考は選考委員会で行う。

- | | | |
|-----------|---|---------|
| ③ 助成総額の目標 | : | 900万円予定 |
| ④ 助成件数の目標 | : | 20件前後 |

2) 自主事業

自主事業は本理事会第1号議案の決議並びに2月28日開催予定の評議員会での報告の後速やかに内閣府へ廃止の申請を行う予定。

但し、内閣府の承認までは開催を前提に準備を進めることとする。

<2019年度実績>

- ① 魚つかみ取り&野菜収穫体験（6月）猛暑の為中止
- ② ぐんま昆虫の森バスツアー（7月）
- ③ 魚つかみ取り&クラフトづくり体験（11月）台風の為中止
- ④ 環境講演会（翌年3月）

3)その他の事業

自主事業と共に内閣府に廃止の申請を行う予定。

但し、内閣府の承認までは開催を前提に準備を進めることとする。

<2019年度実績>

- ① 日野市主催「コスモスアベニュー」に参加